

こうか
まちかど特派員
よしだ しゅういち
吉田 秀一



ほんの数キロメートルで 大自然満喫

新名神高速道路甲南インターチェンジ来春完成で注目される観光スポット「岩尾山」



整備された散策道

岩尾山（甲南町杉谷、標高471.1メートル）は、三上・田上・信楽県立自然公園にあり、三重県伊賀市と県境で接する東南端に位置します。その名が示すとおり、粗粒花崗岩質の山地で巨岩や奇岩が散在しています。中腹には息障寺があり、その境内を取り囲むように山頂を巡る散策道（准四国88力所巡り）があります。以前から県内外を問わず訪れる人が後を絶ちませんが、甲南インターチェンジからほんの数キロメートルにある岩尾山が、今、改めて注目されています。

**巨岩崩落から新しい景色の中
よみがえった不動明王立像**

散策道は今まで立入禁止となっていました。山頂近くの巨岩群が平成16年の11月下旬に崩落したためです。その後、大規模な治山工事が施され、今年の9月23日の息障寺の秋の会式の日に合わせ竣工式が行われ、同時に立入禁止が解除されました。

この崩落した巨岩群の中に奥の院があり、高さ5メートルほどの不動明王立像（市指定文化財）が刻まれています。その作風から室町時代初期の作ともいわれています。幸い

にも不動明王立像そのものの崩落は免れ、頂上から寺の境内まで見通せるようになった新しい景色の中によみがえりました。

立入禁止のために散策道は4年もの間整備されることなく、枯れた松が倒れ道を塞ぎ、あちこちで石像が倒れた状態でした。そこで、復旧工事を終えた後、地元の人たちの手で整備作業が行われ、道に倒れた枯木を撤去し、石像も元のように安置されました。道の両サイドの木々の枝も払われ、以前の散策道よりも晴れやかになっています。

**天狗の足跡天狗岩、
たたくとポクポク木魚岩**

息障寺は平安初期の延暦年間（最澄（伝教大師））によって開山されたといわれ、天台宗の池原延暦寺とも呼ばれています。その昔は、岩尾山の巨岩や奇岩を活かし、修験者の修練が行われていたと伝え



天狗の足跡が、天狗岩



曼荼羅岩

られています。鎖が垂れ下がっていた鐘掛岩には、昭和30年代までは地元の子供たちも鎖を伝って巨岩を登っていました。その他の岩にも、天狗の足跡がある天狗岩、たたくとポクポク音がする木魚岩、それに大きさや形状から八丈岩、屏風岩、お馬岩、曼荼羅岩などの名前が付けられています。「霽の河原」もありません。

散策道は、30分前後で一巡できます。巨岩や奇岩、それぞれに違う88力所の石像の顔、それに眼下に広がる雄大な景色はもちろん、頂上に至る間の石段の周囲では大径木のツガと常緑広葉樹のシイが混交した県下でも大変珍しい独特の自然林が楽しめます。また、岩尾山一帯には注目すべき動植物の生息が数多く確認されており、ひよっとすると遭遇できるかも知れません。ただし、くれくれもマナーを大切に。